

# 中部地方における高原のスゲ属植物

岡 本 香\*

昭和51年 9月16日受理

## ま え が き

本州中部地方産のスゲ類については、既刊の文献などで報告されているが、スゲ類の総合的な文献がない。筆者は1964年以来、この地方でスゲ類の採集調査を試みた。この稿は上信越と中信の高原における調査結果を述べる。また1976年8月現在、確認された60種7変種のスゲ類について、その目録などを記載する。

## 調査地域の概要

今回の調査地域は、上信越高原（浅間・軽井沢・志賀・菅平・高峰・湯ノ平・湯ノ丸など）と中信高原（美ヶ原・霧ヶ峰・車山・白樺・蓼科など）であり、主な高原についての植物の概要などを述べる。

### 〔上信越高原〕

#### 軽井沢高原地域

この高原は東に群馬と長野の両県をわける鼻曲山（1654m）・留夫山（1591m）・一ノ字山（1423m）・矢ヶ崎山（1184m）などの山群があり、北西部は活火山で、長い裾野がみられる浅間山（2542m）などにかこまれた標高950—2000mにある。この地域の植物はアカシデ・アカマツ・アサマフウロ・イタドリ・イチヤクソウ・イヌガンソク・イヌワラビ・イワギボウシ・ウスユキソウ・ウツギ・ウツボグサ・エビネ・オオカメノキ・オニグルミ・オニドコロ・オミナエシ・カシワ・カラマツ・カワラナデシコ・キキョウ・ギンギン・キバナノヤマオダマキ・クサイ・クサレダマ・クジャクシダ・クヌギ・クマシデ・クラマゴケ・ケヤキ・コウリンカ・コシオガマ・サルトリイバラ・サワオグルマ・サワギキョウ・サワグルミ・シシウド・シシガシラ・シデシヤジン・シナノキ・シモツケ・ジユウモンジシダ・シラカンバ・スイバ・スギ・ススキ・ズミ・ゼンマイ・ソバナ・ダケカンバ・タケニグサ・チゴユリ・チダケサシ・ツタウルシ・ツメクサ・ツリガネニンジン・ツリフネソウ・テンナンショウ・ドクセリ・トダシバ・トチノキ・トンボソウ・ナルコユリ・ニガイチゴ・ニツコウキスゲ・ヌカキビ・ヌマガヤ・ヌルデ・ネジキ・ノイバラ・ハシバミ・ノギラン・ノハナシヨウブ・ノリウツギ・ハリイ・ハルニレ・ハンノキ・ヒカゲノカズラ・ヒトリシズカ・ヒノキ・ヒヨドリバナ・フシグロセンノウ・ブナ・ヘクソカズラ・ヘ

\* 岡山理科大学理学部基礎理学科

ラオオバコ・ホオノキ・マタタビ・マツムシソウ・ミズナラ・ミズヒキ・ミツデウラボシ・ムラサキ・メドハギ・モミ・ヤナギラン・ヤマアジサイ・ヤマノイモ・ヤマボウシ・ヤマブドウ・ヨシ・リヨウブ・リンドウ・レンゲツツジ・ワラビ・ワレモコウなどが生育する。スゲ類ではアオスゲ・アサマスゲ・アズマスゲ・アゼスゲ・イトスゲ・エナシヒゴクサ・オオイトスゲ・オオカワズスゲ・オニスゲ・オニナルコスゲ・カワラスゲ・カンスゲ・ゴウソ・コハリスゲ・サナギスゲ・シバスゲ・シヨウジョウスゲ・タガネソウ・タニガワスゲ・テキリスゲ・ナキリスゲ・ナルコスゲ・ヌマクロボスゲ・ヒエスゲ・ヒカゲスゲ・ヒカゲハリスゲ・ヒゴクサ・ヒメカンスゲ・ヒメスゲ・ホソバヒカゲスゲ・ミノボロスゲ・ヤマアゼスゲ・ヤチカワズスゲ・ヤブスゲなどが採集された。

### 志賀・奥志賀高原地域

この高原は標高1300—1600 mで、岩菅山 (2295 m)・横手山 (2305 m)・白根山 (2162 m)・笠岳 (2075 m)・志賀山 (2035 m)・東館山 (2030 m)などの山群にかこまれている。地形が複雑なため、いくつかに分けて調査した。例えば志賀・草津高原ルート (湯田中—丸池—蓮池—熊ノ湯—横手山—渋峠—白根山)、蓮池—発哺—高天ヶ原—東館山、蓮池—長池周辺、発哺—奥志賀周辺、上信スカイライン (白根火山—万座—須坂)などである。この地域の植物はアイバソウ・アカネ・アカマツ・アカモノ・アキカラマツ・アケビ・アズマシヤクナゲ・イタドリ・イチイ・イヌシデ・イワガラミ・イワノガリヤス・イロハカエデ・ウコギ・ウスユキソウ・ウツギ・ウツボグサ・ウド・ウメバチソウ・ウラジロモミ・エゴノキ・エゾアブラガヤ・エビズル・エゾユズリハ・オオシラビソ・オオタカネイバラ・オオツリバナ・オカトラノオ・オキナグサ・オサバグサ・オニグルミ・オヤマリンドウ・カタクリ・カツラ・カニコウモリ・ガマズミ・カラマツ・カワラナデシコ・キササゲ・キツフリネ・ギボウシ・キンミズヒキ・クガイソウ・クサレダマ・クズ・クマザサ・クマシデ・クマノミズキ・クリ・クロベ・クロマメノキ・ケヤキ・コウリンカ・コオニユリ・コケモモ・コシアブラ・コバイケイソウ・コブシ・コマクサ・コメツガ・サワオトギリ・サワヒヨドリ・サワグルミ・シシウド・シナノキ・シラカンバ・シラタマノキ・シラビソ・シラネアオイ・シラネワラビ・スイカズラ・スイバ・スギ・ススキ・ズミ・センブリ・ゼンマイ・ソバナ・ダケカンバ・タケニグサ・タニウツギ・タニギキョウ・タムラソウ・タラノキ・チガヤ・チゴユリ・チジミザサ・チドリノキ・ツガ・ツガザクラ・ツタウルシ・ツマトリソウ・ツリガネニンジン・ツリバナ・ツリフネソウ・テンナンショウ・テリハノイバラ・トウヒ・トキソウ・トチノキ・ナツハゼ・ナナカマド・ナルコユリ・ニガイチゴ・ニガキ・ニツコウキスゲ・ニリンソウ・ヌカキビ・ヌマガヤ・ヌルデ・ネコヤナギ・ネジキ・ネバリノギラン・ノイバラ・ノハラクサフジ・ノリウツギ・ハイマツ・ハクサンシヤクナゲ・ハクサンチドリ・ハクサンフウロ・ヒトリシズカ・ヒメコマツ・ヒメノガリヤス・ヒルムシロ・フキ・フサザクラ・ブナ・ヘビイチゴ・ヘラオオバコ・ホオノキ・

ホソバトリカブト・ホツツジ・ホタルイ・ホタルブクロ・マイズルソウ・マタタビ・マツムシソウ・マルバダケブキ・ミズナラ・ミズバショウ・ミネカエデ・ミヤマアキノキリンソウ・ミヤマイラクサ・ミヤマヤブニンジン・ムシカリ・ムラサキヤシオツツジ・メタカラコウ・メドハギ・モウセンゴケ・モミ・ヤグルマソウ・ヤナギラン・ヤマオダマキ・ヤマドリゼンマイ・ヤマハギ・ヤマハハコ・ヤマハンノキ・ヤマフジ・ユウスゲ・ユキザサ・ヨグソミネバリ・ヨシ・ヨモギ・リヨウブ・リンドウ・レンゲツツジ・ワタスゲ・ワラビ・ワレモコウなどが生育する。スゲ類ではアオスゲ・アズマナルコ・アゼスゲ・イトスゲ・イツボンスゲ・エナシヒゴクサ・オオカサスゲ・オオカワズスゲ・オクノカンスゲ・オニスゲ・オニナルコスゲ・カサスゲ・カワラスゲ・カンスゲ・コカンスゲ・ゴウソ・コジユズスゲ・コハリスゲ・サドスゲ・シヨウジヨウスゲ・シバスゲ・ジユズスゲ・シラコスゲ・タガネソウ・タテヤマスゲ・タニガワスゲ・テキリスゲ・ナキリスゲ・ナルコスゲ・ヌマクロボスゲ・ハガクレスゲ・ハリガネスゲ・ヒカゲスゲ・ヒカゲハリスゲ・ヒゴクサ・ヒメカワズスゲ・ヒメカンスゲ・ヒメスゲ・ホスゲ・ホソバオゼヌマスゲ・ホソバヒカゲスゲ・ホロムイスゲ・マツバスゲ・ミタケスゲ・ミチノクホンモンジスゲ・ミノボロスゲ・ヤチスゲ・ヤチカワズスゲ・ヤマアゼスゲ・ヤマテキリスゲなどが採集された。

#### 菅平高原地域

この高原は標高1250—1450mで、四阿山（2333m）や根子岳（2128m）などでかこまれた盆地状のなだらかな高原であり、北信牧場や菅平湿原などがみられる。この地域の植物はアイバソウ・アカマツ・アカモノ・アザミ・アズマギク・イタドリ・イヌブナ・イワカガミ・ウツボグサ・ウメバチソウ・エゴノキ・エゾサンザシ・エゾシオガマ・オオアワガエリ・オオイタドリ・オオイタヤメイゲツ・オカトラノオ・オオシラビソ・オシダ・カツラ・ガマズミ・カラマツ・カワヤナギ・ガンコウラン・キキョウ・ギボウシ・クガイソウ・クサアジサイ・クサレダマ・クマザサ・クロマメノキ・ケヤキ・コオニユリ・コケモモ・コシアブラ・コナラ・コメツガ・サワオトギリ・サワグルミ・シシウド・シデシヤジン・シナノキ・シナノキイチゴ・シラカンバ・シラビソ・ススキ・スズラン・ズミ・センブリ・ゼンマイ・ソバナ・ダイモンジソウ・ダケカンバ・タケニグサ・チゴユリ・ツリガネニンジン・ツリフネソウ・ドロノキ・トモエソウ・トリアシシヨウマ・ナナカマド・ニツコウアザミ・ニツコウシダ・ヌルデ・ネコヤナギ・ノハナシヨウブ・ハウチワカエデ・ハクサンチドリ・ハクサンフウロ・ハナヒヨウタンボク・ハリブキ・ハルニレ・ハンゴンソウ・ヒロハテンナンショウ・フシグロセンノウ・フデリンドウ・ブナ・マツムシソウ・ミズオトギリ・ミヤマウラボシ・ミヤマハンノキ・モミ・ヤチアザミ・ヤナギラン・ヤマドリゼンマイ・ヤマベニシダ・ヤマハナワラビ・ヤマハハコ・ヤマホタルブクロ・ヤマユリ・ヨツバヒヨドリ・リヨウブ・リンドウ・レンゲツツジ・ワラビ・ワレモコウなどが生育する。スゲ類ではアオスゲ・アゼスゲ・アブラシバ・イトスゲ・オオカサスゲ・オオカワ

ズスゲ・オニスゲ・オニナルコスゲ・カサスゲ・カワラスゲ・ゴウソ・コジユズスゲ・コハリスゲ・サドスゲ・シバスゲ・シヨウジョウスゲ・タガネソウ・タニガワスゲ・テキリスゲ・ナルコスゲ・ハガクレスゲ・ハリガネスゲ・ヒカゲスゲ・ヒゴクサ・ヒメスゲ・ヒメカンスゲ・ヒラギシスゲ・ホソバオゼヌマスゲ・マツバスゲ・ミタケスゲ・ミチノクホンモンジスゲ・ミノボロスゲ・ヤマアゼスゲ・ヤチカワズスゲ・ヤマテキリスゲなどが採集された。

### 高峰高原地域

浅間山の西側、黒斑山（2414m）と高峰山（2105m）との間にある車坂峠（1968m）を中心とする標高1900—2400mの高原で、付近には三方ヶ峰（2040m）、籠ノ登山（2228m）などがある。またこの高原の東側に湯ノ平高原（標高約2000m）、西側に湯ノ丸高原（標高約1700m）がある。この地域の植物はアカマツ・アキノキリンソウ・アサマフウロ・アマドコロ・イタチササゲ・イタドリ・ウバユリ・ウメバチソウ・ウワミズザクラ・オオイタヤメイゲツ・オニグルミ・ガマズミ・カラマツ・コナラ・クサレダマ・クズ・クマシデ・クロイチゴ・クロマメノキ・ケヤキ・サワオグルマ・サワヒヨドリ・シシウド・シデシヤジン・シモツケ・シユロソウ・シラカンバ・ソバナ・ダケカンバ・タケニグサ・タラノキ・チゴユリ・ツリガネニンジン・トチノキ・トリカブト・ナナカマド・ニツコウキスゲ・ニセアカシア・ノハラクサフジ・ノリウツギ・ハシバミ・ハナイカダ・ハンノキ・フシグロセンノウ・ホタルブクロ・マツムシソウ・ミズナラ・ミヤマリンドウ・メドハギ・ヤナギラン・ヤマアジサイ・ヤマハギ・ヤマハハコ・ヤマホタルブクロ・ヤマボウシ・リンドウ・レンゲツツジ・ワラビ・ワレモコウなどが生育する。スゲ類ではアオスゲ・アゼスゲ・イトスゲ・オオカサスゲ・カサスゲ・カワラスゲ・ゴウソ・コジユズスゲ・コハリスゲ・シバスゲ・シヨウジョウスゲ・ジユズスゲ・タガネソウ・テキリスゲ・ナルコスゲ・ハリガネスゲ・ヒカゲスゲ・ヒゴクサ・ヒメカンスゲ・ヒメスゲ・ホソバヒカゲスゲ・ミノボロスゲ・ヤチカワズスゲ・ヤマアゼスゲなどが採集された。

### 〔中信高原〕

#### 美ヶ原高原地域

この高原は標高約2000mで、東は物見石山（1985m）、西は王ヶ頭（2034m）、南は茶臼山（2006m）、北は武石峰（1973m）などにかこまれた平坦な台地である。この地域の植物はアカマツ・アキノキリンソウ・イタドリ・イブキトラノオ・ウメバチソウ・カラマツ・キキョウ・キンミズヒキ・クガイソウ・コウリンカ・コケモモ・コナラ・コバイケイソウ・コメツガ・サワグルミ・シモツケソウ・シラカンバ・ススキ・スズラン・ズミ・ソバナ・ダケカンバ・タラノキ・チゴユリ・ツリガネニンジン・ツリフネソウ・トダシバ・トチノキ・ナナカマド・ニツコウキスゲ・ネコヤナギ・ノダケ・ハクサンフウロ・ハリブキ

・ヒノキ・ブナ・マツムシソウ・ミズナラ・モミ・ヤナギラン・ヤマウド・ユウスゲ・レンゲツツジ・ワレモコウなどが生育する。スゲ類ではアゼスゲ・イトスゲ・オオカワズスゲ・オニナルコスゲ・カサスゲ・カワラスゲ・ゴウソ・コカンスゲ・コジユズスゲ・コハリスゲ・ジユズスゲ・シヨウジョウスゲ・タガネソウ・テキリスゲ・ナルコスゲ・ハガクレスゲ・ヒカゲスゲ・ヒゴクサ・ヒメカンスゲ・ヒメスゲ・ミノボロスゲ・ヤチカワズスゲ・ヤマアゼスゲなどが採集された。

### 霧ヶ峰・車山高原地域

霧ヶ峰高原は鷲ヶ峰(1798m)から車山(1925m)の間にある標高1600—1800mの高原で、八島ヶ原・踊場湿原などがあり、車山高原は霧ヶ峰高原の東端にある車山を中心とする溶岩台地の草原で、車山湿原もみられる。この地域の植物はアカバナ・アカバナシモツケ・アカマツ・アキグミ・アキノキリンソウ・アサガラ・イカリソウ・イタチシダ・イタドリ・イヌシダ・イブキトラノオ・イワノガリヤス・ウシノケグサ・ウスユキソウ・ウツギ・ウツボグサ・ウド・ウメバチソウ・ウラジロノキ・エゾシロネ・エビズル・オオカメノキ・オケラ・オニゼンマイ・オヤマリンドウ・カラマツ・カラマツソウ・カワラナデシコ・キオン・キキョウ・キスゲ・キツリフネ・キリガミネアキノキリンソウ・キンバイソウ・キンミズヒキ・クガイソウ・クサレダマ・クマイチゴ・クララ・クロマメノキ・コウヤワラビ・コウリンカ・コオニユリ・コナラ・コバイケイソウ・コブシ・サギスゲ・サクラソウ・サワギキョウ・サワヒヨドリ・シシウド・シナノオトギリ・シナノキ・シナノトウヒレン・シモツケソウ・シヨウジョウバカマ・シラカンバ・シラネニンジン・スズラン・ズミ・センブリ・ゼンマイ・ソバナ・ソヨゴ・ダケカンバ・タテヤマリンドウ・タラノキ・チダケサシ・ツボスミレ・ツリガネニンジン・ツリバナ・ツリフネソウ・ツルコケモモ・トウバナ・トダシバ・トチノキ・トモエソウ・トンボソウ・ナナカマド・ナルコユリ・ナンテンハギ・ニガイチゴ・ニガナ・ニシキウツギ・ニツコウキスゲ・ニツコウシダ・ニワトコ・ヌカボ・ヌカボシソウ・ヌマガヤ・ヌルデ・ネコヤナギ・ネジキ・ノアザミ・ノウルシ・ノダケ・ノハナシヨウブ・ノハラアザミ・バアソブ・ハウチワカエデ・ハクサンフウロ・ハバヤマボクチ・ハリブキ・ヒカゲノカズラ・ヒノキ・ヒトリシズカ・ヒメイチゲ・ヒメシヤクナゲ・ブナ・フユノハナワラビ・マタタビ・マツムシソウ・マユミ・マルバダケブキ・マルバハギ・ミズナラ・ミツバツチグリ・メタカラコウ・モミ・ヤエザキ・キンバイソウ・ヤグルマソウ・ヤブレガサ・ヤナギラン・ヤマトリカブト・ヤマドリゼンマイ・ヤマハハコ・ヤマホタルブクロ・ヤマラツキヨウ・ヨシ・ヨツバヒヨドリ・ユウスゲ・レンゲツツジ・リンドウ・ワタスゲ・ワラビ・ワレモコウなどが生育する。スゲ類ではアオスゲ・アゼスゲ・イトスゲ・イツポンスゲ・イトヒキスゲ・エゾサワスゲ・エゾツリスゲ・エゾハリスゲ・オオカワズスゲ・オニナルコスゲ・カサスゲ・カワズスゲ・カワラスゲ・カンスゲ・キリガミネスゲ・ゴウソ・コカンスゲ・コジユズスゲ・コハリスゲ・

サドスゲ・サヤスゲ・シバスゲ・シヨウジョウスゲ・シラコスゲ・タガネソウ・タニガワスゲ・テキリスゲ・ナルコスゲ・ヌマクロボスゲ・ハガクレスゲ・ハタベスゲ・ハリガネスゲ・ヒエスゲ・ヒカゲスゲ・ヒカゲハリスゲ・ヒゴクサ・ヒメカンスゲ・ヒメスゲ・ホソバオゼヌマスゲ・ホロムイクグ・ホロムイスゲ・マツバスゲ・ミタケスゲ・ミチノクホンモンジスゲ・ミノボロスゲ・ヤチカワズスゲ・ヤマアゼスゲなどが採集された。

### 白樺高原地域

この高原は蓼科山（2530m）の北麓にひろがる蓼科牧場を中心に、女神湖・夢ノ平一帯で、標高1500—1800mの高原である。付近には前掛山（2354m）・竜ヶ峰（1855m）・白樺湖などがみられる。この地域の植物はアカネ・アカマツ・アキノキリンソウ・アカミノイヌツゲ・イタチササゲ・イブキトラノオ・イワカガミ・ウスノキ・ウスユキソウ・ウド・ウメバチソウ・オオアワガエリ・オオカメノキ・オオシラビソ・オウレン・オカトラノオ・オニゼンマイ・オミナエシ・カシワ・カツラ・カニコウモリ・カラマツ・カワラナデシコ・キキョウ・キハギ・ギボウシ・キンミズヒキ・クガイソウ・クマシデ・クリンソウ・クルマユリ・コウリンカ・コケモモ・ゴゼンタチバナ・コナラ・コバイケイソウ・コメススキ・コメツガ・サワグルミ・サラシナショウマ・サワギキョウ・サルナシ・シナノオトギリ・シナノキイチゴ・シモツケソウ・シラカンバ・シラネワラビ・シラビソ・スギ・ススキ・スズラン・ズミ・センブリ・ゼンマイ・ソヨゴ・ダイモンジソウ・ダケカンバ・タケニグサ・タチフウロ・タマアジサイ・チドリノキ・ツリガネニンジン・ツリバナ・ツリフネソウ・ツルシキミ・トウヒ・ドクセリ・トチノキ・ナデシコ・ナナカマド・ニシキウツギ・ニツコウキスゲ・ノアザミ・ノコギリソウ・ノリウツギ・ハイマツ・ハクサンイチゲ・ハクサンシヤクナゲ・ハクサンフウロ・ハリブキ・ハンゴンソウ・ヒカゲノカズラ・ヒメイチゲ・ヒメイワカガミ・ヒヨドリバナ・フジアザミ・ブナ・ホオノキ・ホザキノシモツケ・ホタルブクロ・マイズルソウ・マタタビ・マツムシソウ・マルバダケブキ・ミズナラ・ミネカエデ・ミヤマインワラビ・ミヤママンネングサ・ムシカリ・メグスリノキ・モミ・ヤエムグラ・ヤナギラン・ヤマオダマキ・ヤマシヤクヤク・ヤマハギ・ヤマハハコ・ユウスゲ・ユキザサ・ヨシ・ヨツバシオガマ・リョウブ・リンドウ・レンゲショウマ・レンゲツツジ・ワラビ・ワレモコウなどが生育する。スゲ類ではアオスゲ・アゼスゲ・オニスゲ・オニナルコスゲ・カサスゲ・カワラスゲ・カンスゲ・ゴウソ・コハリスゲ・シバスゲ・シヨウジョウスゲ・タガネソウ・タニガワスゲ・テキリスゲ・ナルコスゲ・ハガクレスゲ・ヒカゲスゲ・ヒメスゲ・ヒメカンスゲ・ホソバヒカゲスゲ・ミノボロスゲ・ヤチカワズスゲ・ヤマアゼスゲなどが採集された。

### 蓼科高原地域

蓼科山（2530m）の南麓から北八ヶ岳の西麓一帯にある標高1200—1500mの高原で、付

近には横岳 (2473m)・縞枯山 (2395m)・茶臼山 (2383m) や蓼科湖などがみられる。この地域の植物はアオハダ・アカマツ・アクシバ・アズキナシ・アブラガヤ・イシミカワ・イタドリ・イヌシデ・イブキトラノオ・イワガラミ・ウツギ・ウメバチソウ・ウバユリ・ウラジロノキ・エゴノキ・オオカメノキ・オケラ・オタカラコウ・オニシモツケ・オニグルミ・オミナエシ・カツラ・ガマ・ガマズミ・カラマツ・カワラサイコ・キササゲ・キツネノボタン・キツリフネ・キブシ・キンミズヒキ・クズ・クヌギ・クリ・ケヤキ・コブシ・コマユミ・コメツガ・サルナシ・サワグルミ・サワフタギ・シデシヤジン・シナノナデシコ・シモツケ・シラカンバ・スイカズラ・スギ・スズラン・ズミ・ゼンマイ・ソバナ・ダケカンバ・タニギキョウ・チゴユリ・チダケサシ・チドリノキ・チヨウジコメツツジ・ツリバナ・ツリフネソウ・ツリガネニンジン・テリハノイバラ・トウヒ・ドクウツギ・トチノキ・トネリコ・ナツハゼ・ニガキ・ニツコウキスゲ・ニワトコ・ヌルデ・ネジキ・ノガリヤス・ノブドウ・ハンノキ・ハリギリ・ハルニレ・フシグロセンノウ・ヘクソカズラ・ホオノキ・マツムシソウ・ミズキ・ミズナラ・ムラサキシキブ・メドハギ・モチノキ・ヤナギラン・ヤマグワ・ヤマボウシ・ヤマホタルブクロ・ヨシ・リヨウブ・リンドウ・ワラビ・ワレモコウなどが生育する。スゲ類ではアオスゲ・アゼスゲ・イトスゲ・エナシヒゴクサ・オニスゲ・オニナルコスゲ・カサスゲ・カワラスゲ・ゴウソ・コジュズゲ・コハリスゲ・シバスゲ・ジユズスゲ・シヨウジヨウスゲ・タガネソウ・テキリスゲ・ナルコスゲ・ヌマクロボスゲ・ハガクレスゲ・ハリガネスゲ・ヒカゲスゲ・ヒゴクサ・ヒメスゲ・ヒメカンスゲ・ホソバヒカゲスゲ・ミタケスゲ・ミチノクホンモンジスゲ・ミノボロスゲ・ヤチカワズスゲ・ヤマアゼスゲ・ヤマテキリスゲなどが採集された。

### スゲ属植物目録

ここに収録したスゲ類は、筆者により採集したもので、これらの標本は岡山理科大学生物化学教室の標本室に保存されている。

1. *Carex albata* Boott (ミノボロスゲ)

浅間, 美ヶ原, 軽井沢, 霧ヶ峰, 志賀, 白樺, 菅平, 高峰, 蓼科, 湯ノ平, 湯ノ丸.

2. *C. alterniflora* Fr. (オオイトスゲ)

軽井沢.

3. *C. aphanolepis* Fr. et Sav. (エナシヒゴクサ)

軽井沢, 志賀, 蓼科.

4. *C. aphyllopus* Kükenth. (タテヤマスゲ)

志賀.

5. *C. augustowiczii* Meinsh. (ヒラギシスゲ)

菅平.

6. *C. biwensis* Fr. (マツバスゲ)

霧ヶ峰, 志賀, 菅平.

7. *C. blepharicarpa* Fr. (シヨウジョウスゲ)  
浅間, 軽井沢, 霧ヶ峰, 車山, 志賀, 白樺, 菅平, 高峰, 蓼科, 湯ノ平, 湯ノ丸.
8. *C. brunnescens* Poir. (ヒメカワズスゲ)  
志賀.
9. *C. capillacea* Boott (ハリガネスゲ)  
霧ヶ峰, 車山, 志賀, 菅平, 高峰, 蓼科.
10. *C. conica* Boott (ヒメカンスゲ)  
浅間, 美ヶ原, 軽井沢, 霧ヶ峰, 志賀, 白樺, 高峰, 蓼科.
11. *C. cuneata* Ohwi (ミチノクホンモンジスゲ)  
霧ヶ峰, 車山, 志賀, 菅平, 蓼科.
12. *C. curvicolis* Fr. et Sav. (ナルコスゲ)  
美ヶ原, 軽井沢, 霧ヶ峰, 車山, 志賀, 白樺, 菅平, 高峰, 蓼科.
13. *C. dickinsii* Fr. et Sav. (オニスゲ)  
軽井沢, 志賀, 白樺, 菅平, 蓼科.
14. *C. dispalata* Boott (カサスゲ)  
美ヶ原, 霧ヶ峰, 志賀, 白樺, 菅平, 高峰, 蓼科.
15. *C. distichoidea* Lév. et Van. (アサマスゲ)  
軽井沢.
16. *C. fernaldiana* Lév. et Van. (イトスゲ)  
浅間, 美ヶ原, 霧ヶ峰, 志賀, 菅平, 高峰, 蓼科.
17. *C. flabellata* Lév. et Van. (ヤマテキリスゲ)  
霧ヶ峰, 車山, 志賀, 菅平, 蓼科.
18. *C. foliosissima* Fr. Schm. (オクノカンスゲ)  
志賀.
19. *C. forficula* Fr. et Sav. (タニガワスゲ)  
軽井沢, 霧ヶ峰, 志賀, 白樺, 菅平.
20. *C. grallatoria* Maxim. var. *heteroclita* Kükenth. (サナギスゲ)  
軽井沢.
21. *C. hakonensis* Fr. et Sav. (コハリスゲ)  
美ヶ原, 軽井沢, 霧ヶ峰, 志賀, 白樺, 菅平, 高峰, 蓼科.
22. *C. heterolepis* Bunge (ヤマアゼスゲ)  
美ヶ原, 軽井沢, 霧ヶ峰, 志賀, 白樺, 菅平, 高峰, 蓼科.
23. *C. humilis* Leyss. var. *nana* Ohwi (ホソバヒカゲスゲ)  
浅間, 軽井沢, 志賀, 白樺, 高峰, 蓼科.



24. *C. incisa* Boott (カワラスゲ)  
浅間, 美ヶ原, 軽井沢, 霧ヶ峰, 志賀, 白樺, 菅平, 高峰, 蓼科, 湯ノ平, 湯ノ丸.
25. *C. ischnostachya* Steud. (ジユズスゲ)  
美ヶ原, 志賀, 高峰, 蓼科.
26. *C. jacens* C. B. Clarke (ハガクレスゲ)  
美ヶ原, 霧ヶ峰, 志賀, 白樺, 菅平, 蓼科.
27. *C. japonica* Thunb. (ヒゴクサ)  
美ヶ原, 軽井沢, 霧ヶ峰, 志賀, 菅平, 高峰, 蓼科.
28. *C. kiotensis* Fr. et Sav. (テキリスゲ)  
美ヶ原, 軽井沢, 霧ヶ峰, 志賀, 白樺, 菅平, 高峰, 蓼科, 湯ノ平, 湯ノ丸.
29. *C. lanceolata* Boott (ヒカゲスゲ)  
美ヶ原, 軽井沢, 霧ヶ峰, 車山, 志賀, 白樺, 菅平, 高峰, 蓼科, 湯ノ平, 湯ノ丸.
30. *C. lasiolepis* Fr. (アズマスゲ)  
軽井沢.
31. *C. latisquamea* Komar. (ハタベスゲ)  
霧ヶ峰.
32. *C. leucochlora* Bunge (アオスゲ)  
軽井沢, 霧ヶ峰, 志賀, 白樺, 菅平, 高峰, 蓼科.
33. *C. limosa* L. (ヤチスゲ)  
志賀, 菅平.
34. *C. longerostrata* C. A. Meyer (ヒエスゲ)  
軽井沢.
35. *C. macroglossa* Fr. et Sav. (コジユズスゲ)  
美ヶ原, 霧ヶ峰, 志賀, 菅平, 高峰, 蓼科.
36. *C. maximowiczii* Miq. (ゴウソ)  
美ヶ原, 軽井沢, 霧ヶ峰, 車山, 志賀, 白樺, 菅平, 高峰, 蓼科.
37. *C. meyeriana* Kunth (ヌマクロボスゲ)  
軽井沢, 霧ヶ峰, 車山, 志賀, 蓼科.
38. *C. michauxiana* Böckel. var. *asiatica* Ohwi (ミタケスゲ)  
霧ヶ峰, 車山, 志賀, 菅平, 蓼科.
39. *C. middendorffii* Fr. Schm. (ホロムイスゲ)  
霧ヶ峰, 車山, 志賀.
40. *C. middendorffii* Fr. Schm. var. *kirigaminensis* Ohwi (キリガミネスゲ)  
霧ヶ峰, 車山.
41. *C. morrowii* Boott (カンスゲ)

- 軽井沢, 霧ヶ峰, 志賀, 白樺.
42. *C. nakiri* Ohwi (ナキリスゲ)  
軽井沢, 志賀.
43. *C. nemurensis* Fr. (ホソバオゼヌマスゲ)  
霧ヶ峰, 車山, 志賀, 菅平.
44. *C. nervata* Fr. et Sav. (シバスゲ)  
浅間, 軽井沢, 霧ヶ峰, 車山, 志賀, 白樺, 菅平, 高峰, 蓼科.
45. *C. oederi* Retz. var. *viridula* Kükenth. (エゾサワスゲ)  
霧ヶ峰, 車山.
46. *C. omiana* Fr. et Sav. (ヤチカワズスゲ)  
美ヶ原, 軽井沢, 霧ヶ峰, 車山, 志賀, 白樺, 菅平, 高峰, 蓼科.
47. *C. omiana* Fr. et Sav. var. *monticola* Ohwi (カワズスゲ)  
霧ヶ峰, 車山.
48. *C. onoei* Fr. et Sav. (ヒカゲハリスゲ)  
軽井沢, 霧ヶ峰, 志賀.
49. *C. oxyandra* Kudo (ヒメスゲ)  
浅間, 美ヶ原, 軽井沢, 霧ヶ峰, 車山, 志賀, 白樺, 菅平, 高峰, 蓼科, 湯ノ平,  
湯ノ丸.
50. *C. papulosa* Boott (エゾツリスゲ)  
霧ヶ峰.
51. *C. reinii* Fr. et Sav. (コカンスゲ)  
美ヶ原, 霧ヶ峰, 志賀.
52. *C. remotiuscula* Wahlenb. (イトヒキスゲ)  
霧ヶ峰.
53. *C. rhizopoda* Maxim. (シラコスゲ)  
霧ヶ峰, 志賀.
54. *C. rhynchophysa* C. A. Meyer (オオカサスゲ)  
志賀, 菅平.
55. *C. rochebruni* Fr. et Sav. (ヤブスゲ)  
軽井沢.
56. *C. sadoensis* Fr. (サドスゲ)  
霧ヶ峰, 車山, 志賀, 菅平.
57. *C. satsumensis* Fr. et Sav. (アブラシバ)  
菅平.
58. *C. senanensis* Ohwi (ホスゲ)

志賀.

59. *C. shimidzensis* Fr. (アズマナルコ)

志賀.

60. *C. siderosticta* Hance (タガネソウ)

浅間, 美ヶ原, 軽井沢, 霧ヶ峰, 車山, 志賀, 白樺, 菅平, 高峰, 蓼科.

61. *C. stipata* Muhlenb. (オオカワズスゲ)

美ヶ原, 軽井沢, 霧ヶ峰, 志賀, 菅平, 高峰.

62. *C. tenuiflora* Wahlenb. (イツポンスゲ)

霧ヶ峰, 志賀.

63. *C. thunbergii* Steud. (アゼスゲ)

美ヶ原, 軽井沢, 霧ヶ峰, 志賀, 白樺, 菅平, 高峰, 蓼科.

64. *C. tsuishikarensis* Koidz. et Ohwi (ホロムイクグ)

霧ヶ峰, 車山.

65. *C. uda* Maxim. (エゾハリスゲ)

霧ヶ峰.

66. *C. vaginata* Tausch var. *petersii* Akiyama (サヤスゲ)

霧ヶ峰, 車山.

67. *C. vesicaria* L. (オニナルコスゲ)

軽井沢, 霧ヶ峰, 車山, 志賀, 白樺, 菅平, 高峰, 蓼科.

#### 考察および結言

中部地方のスゲ類については, 例えば奥山春季著の「日本植物ハンドブック」で, 軽井沢: 13種2変種, 霧ヶ峰: 21種3変種, 志賀高原: 8種1変種, 菅平: 8種. 原寛・他著の「軽井沢の植物」で, 25種6変種. 諏訪市教育委員会の「霧ヶ峰の植物」で, 35種5変種の記載がある. 今回の調査で主な地域の種数は, 美ヶ原: 23種, 軽井沢: 32種2変種, 霧ヶ峰: 43種5変種, 車山: 17種5変種, 志賀: 48種2変種, 白樺: 22種1変種, 菅平: 34種1変種, 高峰: 23種1変種, 蓼科: 29種2変種であり, 特に志賀や霧ヶ峰は種数が多い. これらの高原で出現度の高いスゲ類は, ヒメスゲ: 100%, カワラスゲ・シヨウジョウスゲ・ヒカゲスゲ・ミノボロスゲ: 91%, タガネソウ・テキリスゲ: 83%, ゴウソ・シバスゲ・ナルコスゲ・ヤチカワズスゲ: 75%などである. 限られた地域のスゲ類は, 霧ヶ峰・車山でイトヒキスゲ・エゾサワスゲ・エゾツリスゲ・エゾハリスゲ・カワズスゲ・キリガミネスゲ・サヤスゲ・ハタベスゲ・ヒエスゲ・ホロムイクグなど, 軽井沢でアサマスゲ・アズマスゲ・サナギスゲなど, 志賀でアズマナルコ・オクノカンスゲ・タテヤマスゲ・ヒメカワズスゲ・ホスゲなど, 菅平でアブラシバ・ヒラギシスゲなどがある. 観光的に開発された高原では, カワラスゲ・シバスゲ・ジュズスゲなどが多い. これらの高原の生

育環境に、関係の深いと思われるスゲ類はシヨウジョウスゲ・タガネソウ・テキリスゲ・ヒカゲスゲ・ヒメスゲなどである。さらに中国地方の高原（スゲ類：55種4変種）と比較すれば、アオスゲ・アゼスゲ・カサスゲ・カワラスゲ・ゴウソ・シバスゲ・シヨウジョウスゲ・タガネソウ・ナルコスゲ・ヒカゲスゲ・ヒゴクサ・ヒメカンスゲ・ヤチカワズスゲ・ヤマアゼスゲの14種が、中部地方の高原でも50%以上の出現度で、特にカワラスゲ・ヒカゲスゲ・シヨウジョウスゲ・タガネソウなどは80%以上の出現度を示した。ササノハスゲ・ダイセンスゲ・ツクシミノボロスゲ・ニシノホンモンジスゲ・ヒメモエギスゲ・フサナキリスゲ・ベニイトスゲ・ヤマジスゲなどの数種が、中部地方の高原に生育しない。今回の調査報告は、中部地方の高原に生育するスゲ類の手がかりとなった。今後は未調査地域の採集調査をして、中部地方におけるスゲ類の生態や分布を明らかにしたい。

### 参 考 文 献

- 秋山茂雄（1955）極東亜産スゲ属植物。札幌，北大。  
 吉川純幹（1957・1958・1960）日本産スゲ属植物図譜。1—3。金沢，北陸の植物の会。  
 岡本 香（1965）Taxonomic study of the Carices in the western Honshu of Japan. 岡山理科大学紀要 1：1—105。  
 諏訪市教育委員会（1971）霧ヶ峰の植物。諏訪。  
 原 寛・他（1974）軽井沢の植物。東京，井上書店。  
 奥山春季（1974）日本植物ハンドブック。東京，八坂書房。  
 大井次三郎（1975）日本植物誌。東京，至文堂。  
 岡本 香（1976）中国地方における高原のスゲ属植物。岡山理科大学紀要 11：67—74。  
 ———（1976）中国地方における峡谷のスゲ属植物。岡山理科大学岡山研究所研究報告 2。

## The *Carex* species of plateaus in the central district of Japan

Kaori OKAMOTO

(Department of Fundamental Natural Science,  
 Okayama College of Science, Okayama, Japan)

### Summary

The present study was designed to know the flora and distribution of *Carex* species in the plateau of Japan. The collection and investigation of *Carex* species in the central district were carried out during 1964-1976. As a result, 60 species and 7 varieties of *Carex* were recognized. *Carex oxyandra*, *C. albata*, *C. blepharicarpa*, *C. incisa* and *C. lanceolata* showed a high frequency in the plateau of the central district. On the whole, *Carex blepharicarpa*, *C. kiotensis*, *C. lanceolata*, *C. oxyandra* and *C. siderosticta* were closely connected with the habitat of plateau in the central district of Japan.